

すみだ通信 こころの杜



◆もくじ◆

ご挨拶 2

診療データ 4

部署紹介 3

外来担当表 4

地域連携室だより 4

病院理念

地域社会に信頼され、貢献できる病院を目指します

ご挨拶



理事長・院長
住田 靖尚

自然豊かな若松区あますみ地区に昭和47年に設立された住田病院は、先代の理事長である故住田豊治が精神科の河井病院を引き継ぎ、診療を開始しました。今でこそ北九州学術研究都市が誘致され研究施設や住宅地、飲食店などが増えてきましたが、開業当時は周囲を山に囲まれ交通手段は1時間に1本あるかないかの市営バスのみでした。その中でも地域に根差した病院として多少なりとも地域医療に貢献してきたのではないかと思います。開業当初は30床でしたが、その後増床し現在では209床となりました。その間、時代の変化に応じ、認知症病棟や訪問看護ステーション、精神科デイケアなどの新しい機能が追加されました。若松区は北九州市内でも高齢化率が特に高い地域であり、全国的な傾向である認知症の精神科的治療の需要が非常に高くなっています。認知症に伴う周辺症状は治療の特殊性から精神科的なアプローチが不可欠であり、当院では介護

保険が始まってから間もなく認知症治療を充実すべく、認知症疾患治療病棟や、訪問看護ステーション、通所リハビリテーションなどを導入しました。

現在当院は、病棟の約半分が認知症病棟で残りが比較的若年層の患者さんを受け入れる病棟です。平成30年度からは24時間365日救急患者を受け入れる精神科救急病棟（スーパー救急病棟）の認可を得ることができました。また診療報酬に反映されることは少ないのですが、理学療法室を完備し周辺症状で入院してこられた認知症患者さんの身体機能が低下しないよう、積極的な身体的リハビリテーションも行っており、リハビリ目的での入院依頼も徐々に増えつつあります。また、多くの先生方や患者さん、ご家族から当院の接遇に関しての苦言をいただくことが多くあり、接遇改善の取り組みを行っているところです。

今回、当院初の広報誌である、「すみだ通信 こころの杜」を発行することとなりました。この広報誌では、職員が笑顔で生き生きと、温かい雰囲気の中で働いている様子を伝えることができると考えています。また、当院には様々な特徴がありながら、『住田病院がどんな病院なのか、今現在どのような取り組みを行っているのか。』あまり知られていないのではないかと感じています。この広報誌を通じて、当院の機能や得意分野をより多くの医療関係者や介護関係者、官公庁の方々に知っていただき、今まで以上に連携し、より良い治療を求めている患者さんのお役に立てれば幸いです。



理学療法室



作業療法作品



外観

部署紹介

患者さんの回復を願い、共に働くこころ強い各部署の仲間たちを紹介します。

看護部



当院の医療業務は、精神障害者及び認知症の治療・看護を主体とし、常に人権擁護の精神をもって業務を遂行しなければなりません。

看護部では、理念である「安心と安全のもと心の通う看護の提供」の実現にむけて、患者さん・御家族に対して一般の人と同様の尊敬と慈愛の念をもって親切・公平に接し、患者さん・御家族の信頼を得るように努めていきます。また、「思いやりの心」を看護の原点に患者さん・御家族、一緒に働くスタッフなど相手を思いやる心を大切にしていきたいと思っています。

事務部



こんにちは事務部です。

私たちは様々な医療の専門家が集まる病院で各部門をつなぐ役割をもっており、日々の業務がスムーズに行われるように尽力しております。具体的な仕事内容は、受付や会計、入院手続き、診療報酬の請求、官公庁への届出や調整、秘書業務、労務管理、建物管理など、多岐にわたります。

これらの仕事を着実にを行うだけでなく、知識の向上、接遇マナーなど患者さんへの心遣いや病院内で働く人々とのコミュニケーションの向上など、前向きに努力しております。

薬局



人員構成として、薬剤師4名（パート2名）で調剤・監査・投薬業務を、薬剤助手3名で調剤補助業務を行っております。

調剤において一包化など、できる限り患者さんのご希望に沿った薬の渡しかたを心がけております。また、病院内で使用する医薬品について、購入・供給、安全に使用するための品質管理を行っております。

今後の部署目標としては、多職種と連携し利用者への適切な薬物療法の貢献や、これから迎える超高齢化社会に対応するために在宅業務（在宅患者訪問薬剤管理指導）を積極的に行っていきたいと考えています。

栄養課



栄養課は、管理栄養士5名、栄養士2名、調理師1名、調理員4名、パート10名のスタッフで、食事基準に基づいた安全な食事の提供に努めると共に、家庭料理のような病院給食を目指しています。

いつ、誰が作っても同じ仕上がりに出来るよう、調味料の量はもちろんのこと、材料の形状・水の量・温度・時間等、細かいところまで全員が共有できる体制にしています。

毎日3食の食事を無事提供するためには、各自の責任と協力が必要ということで、何よりも「チームワーク」を大切にしています。

精神科デイケア



当院のデイケアは一単位の大規模精神科デイケアです。当院通院患者さんに限らず、他の医療機関にかかりつつデイケアのみ利用されている方もいます。患者さんにとって、症状の安定を主に、生活リズムの安定や仲間作り、コミュニケーションやストレスへの対処技能の向上にも取り組んでいます。デイケア利用を通して福祉的就労や社会参加へのステップアップを目指します。

現在、医師を中心に看護師3名、臨床心理士1名、作業療法士3名、看護助手3名で様々なプログラムを実施しています。

訪問看護ステーション



平成4年4月から訪問看護の制度が始まり、当ステーションは北九州で2番目の同年6月に設立しました。精神科訪問看護が中心で、患者さんの在宅生活を支援することで、病状の安定を図り、家族、地域、そして主治医を含め病院関係者、役所、本人に関わっている福祉サービス関係者との連携を密に行っています。

現在、スタッフは常勤看護師4名、非常勤看護師4名、事務員1名。利用患者数はおよそ80名で、その内訳は、住田病院の通院患者が3分の2、産業医科大学病院および精神科クリニックの通院患者が3分の1です。

外来担当表

		月	火	水	木	金	土
初診		安達 利昭	辻 尚志郎	佐藤 雄	住田 靖尚	古谷 英章	新開 隆弘 (午前のみ)
再診	午前	辻 尚志郎	住田 靖尚	古谷 英章	安達 利昭	佐藤 雄	新開 隆弘
	午後	辻 尚志郎	住田 靖尚	古谷 英章	安達 利昭	佐藤 雄	佐藤 雄

診療時間 初診(予約制): 月～金 9時～12時・13時～15時 土 9時～12時 再診: 月～土: 9時～12時・13時～15時



地域連携室だより

地域の医療機関、相談支援機関等の皆様には、日頃より当院の診療機能をご活用いただきありがとうございます。

今回は、当院での医療連携を知っていただくために、2019年内科クリニックより紹介入院された患者さんの経過を紹介いたします。

90歳 女性 アルツハイマー型認知症 高血圧症 HDS-R: 4点 障害自立度: A2 認知症自立度: IIIa 要介護2
認知症にともなうBPSD(不機嫌、拒絶、粗暴など)のため在宅介護困難となり入院。当初は認知機能低下に伴う強い困惑と不穏がみられましたが、医師による「抗認知症薬・抗精神病薬の調整と身体合併症管理」看護師による「身体管理と見守り、過不足ない介護」作業療法士による「患者の意向とペースに合わせたリハビリテーション」によりBPSDは改善。ソーシャルワーカーによる「家族への認知症教育と生活環境調整」により入院から42日後に退院。

現在患者さんは自宅近くのグループホームで暮らし、夫と長男夫婦が頻繁に面会に訪れるなか、できる範囲の家事と趣味を楽しみながら外来通院継続中です。

各機関から患者さんのご紹介をいただきました。
ありがとうございました。

精神科救急病棟で治療した患者さんの退院先

	医療機関	行政機関	警察・消防	介護施設等
2019年4月	17名	3名	4名	6名
2019年5月	13名	2名	2名	6名
2019年6月	14名	5名	8名	4名

	自宅	施設	転院	その他
2019年4月	89%	—	11%	—
2019年5月	80%	10%	10%	—
2019年6月	71%	2%	23%	—

アクセス

電車の場合

鹿児島本線折尾駅よりタクシーで約15分

筑豊本線二島駅よりタクシーで約10分

※折尾駅・二島駅より北九州市営バスで原牟田下車 徒歩約5分

自動車の場合

黒崎インターチェンジから15km。約20分

※駐車場あり



医療法人 住田病院

〒808-0122 福岡県北九州市若松区大字蛸住1435

TEL 093-741-1301 FAX 093-741-6277

<http://sumida-hospital.life.coocan.jp>

